

第 2 期

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略

事業評価報告書（案）

（令和 4 年度事業）

宇 治 市

目 次

創生総合戦略の事業評価について	1
人口動向分析	4
令和4年度事業評価	
KPI達成状況	6
(1) 『確固たる宇治ブランドの展開』	7
様々な主体と一体となる魅力発信事業	
観光振興事業	
観光インバウンド推進事業	
宇治茶活用事業	
源氏物語のまちづくり等事業	
宇治の魅力の深化事業	
(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	13
市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	
誰もが活躍できる共生社会づくり事業	
宇治への愛着醸成事業	
誰もが健康で生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	
多文化共生促進事業	
(3) 『まちの魅力をも高める都市基盤の整備』	19
まち巡りを仕掛ける基盤づくり	
人・物の交流の活性化事業	
豊かな市民生活を実現する社会基盤の整備事業	
地域コミュニティの活性化事業	
地域の豊かさを維持・向上させる国土強靱化の推進事業	
(4) 『持続的に発展する地域経済の活力づくり』	25
市内産業の進化・発展事業	
交流連携の強化事業	
新たな産業創出事業	
(5) 『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』	29
若い世代の就労支援事業	
結婚・出産支援事業	
子育て支援環境充実事業	
学習環境等充実事業	
切れ目のない連携教育推進事業	
地域等協働子育て環境充実事業	
国の地方創生関係交付金を活用した事業	36
重要業績評価指標（KPI）目標値修正一覧	40

創生総合戦略の事業評価について

1. 創生総合戦略の基本的な考え方

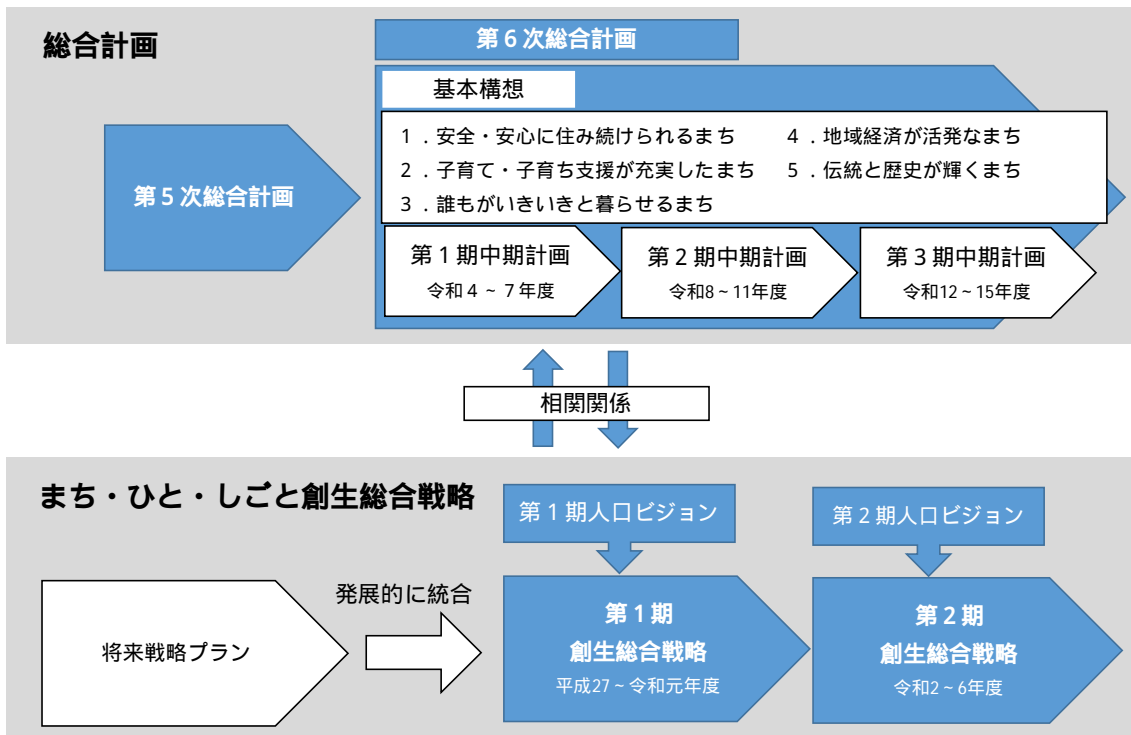
(1) 創生総合戦略の目的

人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 創生総合戦略の位置付け

第5次総合計画に基づき定めている「将来戦略プラン」の考え方と背景に示す人口ビジョンを踏まえる中で、第1期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第1期創生総合戦略」という。)を策定し、5つの基本目標を定めている。第1期創生総合戦略の取組は、第2期中期計画と第3期中期計画に重点的施策として位置付けて推進しており、数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の達成度により、取組の効果を毎年検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策の見直しを図るなど、PDCAサイクルにより戦略の実効性を高めている。

第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第2期創生総合戦略」という。)の策定にあたっては、第3期中期計画に定める施策等を勘案するとともに、第6次総合計画の策定を見据えて関連付けを図った。第6次総合計画においても第2期創生総合戦略の目的や基本目標等を勘案するとともに、計画の整合を図る中で、必要に応じて第2期創生総合戦略を見直すこととする。



2．事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標（KPI）の達成度により、取組の効果を毎年度検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策・事業の見直しとともに、数値目標やKPIについても見直しを図るなど、PDCAサイクル（ ）により、創生総合戦略の実効性を高める。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、産学官金労言士等の有識者及び市民で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行う。

（ ）PDCAサイクルとは、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3．評価の対象事業

第2期創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、令和4年度に実施した事業（地方創生推進交付金対象事業含む）について評価を行った。

なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4．第2期創生総合戦略策定後の社会情勢について

第2期創生総合戦略を策定後、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、人との接触や行動の制限など、感染拡大防止のための新しい生活様式が示され、社会、経済の様々な面で影響を及ぼすこととなった。宇治市においても、市民生活に大きな変化をもたらし、各イベントの中止や規模の縮小など、創生総合戦略の策定当初に想定していなかった事態に見舞われた。

その後、原油価格・物価高騰も重なり、市民生活に大きな影響を与えているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は落ち着きを見せ、情報技術の活用等、WITH コロナの取組が進む中で、様々な活動が再開し、活発化することで、経済も緩やかに回復傾向に向かっている。今後は、宇治市においても、POST コロナ時代の新しいまちづくりに向けて、宇治市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指す必要がある。

5 . 創生総合戦略の評価及び見直し

(1) 令和 4 年度事業評価

この間、新型コロナウイルス感染症の影響で、インバウンドを中心とした観光入込客数の減少をはじめ、一部事業の中止・縮小などにより各種イベント等への参加人数が減少していた。

一方で、令和 4 年度には、歴史や文化などの恵まれた資源を活かした観光振興や、SNS を活用した戦略的な広報活動など、WITH コロナの取組を進める中で、観光入込客数は一定回復し、また、これまで中止等していた各種イベントや活動が再開され、幅広い世代の市民が活躍する環境づくりや交流の活性化を図り、市民参画・協働による取組を進めることで、コロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつあることに加え、持続的に発展するまちづくりに向けて企業に対する支援の充実も図っており、WITH コロナ・POST コロナ時代の新しいまちづくりに向けた取組を進めることができた。

また、第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI の達成状況を見ると、中間年度である令和 4 年度時点で、全体の約 3 割の指標が達成し、達成したものも含め達成率 6 0 % 以上となる指標が 6 割を超えており、基本目標の達成に向けて取組を進めることができた。

今後は、さらに、宇治市の特色を活かした取組を進め、宇治の魅力を国内外に発信することにより、宇治への愛着の醸成や定住・移住意向の向上につなげるとともに、文化庁の京都移転や大阪・関西万博の開催など、様々なイベント、社会情勢等を契機と捉え、それらを活かした取組を進めることで、宇治の良さをさらに高めていく必要がある。

人口については、全体の社会動態は依然として減少しているものの、減少幅は創生総合戦略策定後、最も少ない下げ幅となっている。この間の傾向と同様に、児童（0～17 歳）は転入が転出を上回り社会増となっているものの、20 歳代は引き続き、社会減となっており、出生数も微減となる中で、人口ビジョンを下回る状況となっている。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きを見せ、人の移動も活発になることから、これからの POST コロナ時代においては、定住人口の増加に向け、より一層、幅広い世代に宇治市の魅力を発信し、多くの人に宇治の良さを知ってもらう取組を進めるとともに、引き続き、雇用拡大や地域経済の活性化及び、若い世代の就労支援や結婚・出産・子育て支援などの取組を積極的に推進する必要がある、より効果的な施策が実施できるよう、人口動態を注視しながら、社会情勢や市民ニーズを的確に捉えた取組を進める必要がある。

(2) 創生総合戦略の見直し

人口減少に歯止めをかける取組として、5 つの基本目標に沿った取組は必要であることから、現時点において、創生総合戦略の基本目標や具体的施策の見直しは実施せず、POST コロナ時代に向けた取組を進める中で、社会情勢に応じた事業展開を図りつつ、重要業績評価指標（KPI）の目標値について、必要に応じて修正を行う。

なお、当初目標年度に達したものについては、第 6 次総合計画や関連する部門計画の内容を踏まえながら、必要に応じて見直しを行うものとする。

人口動向分析

<人口ビジョンについて>

第2期宇治市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）は、平成27年（2015年）の国勢調査人口を基に、合計特殊出生率や社会増減の目標を踏まえ、推計したものである。

<令和4年の人口>

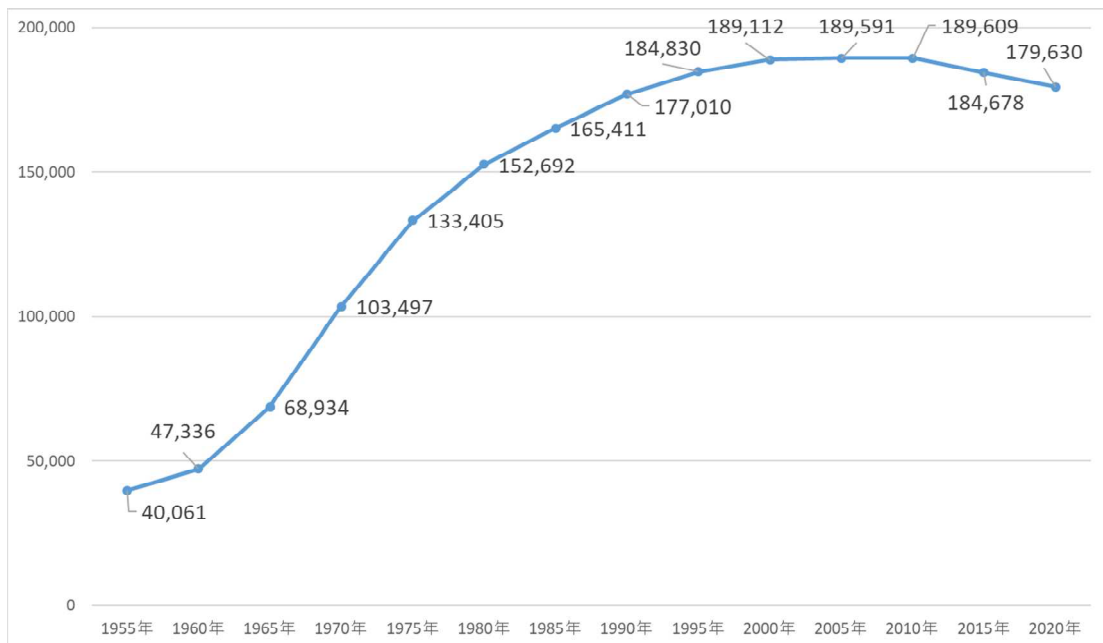
人口ビジョンと推計人口を比較すると、表1のとおり、宇治市の人口は令和4年においても人口ビジョンを下回っており、その差は広がっている。

表1 第2期人口ビジョンと推計人口との比較

	2015 H27	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2025 R7	...	2060 R42
人口ビジョン(A)	184,678	183,546	183,004	182,462	180,837		150,786
推計人口() (B)	184,678	179,630	178,292	176,915			
B - A	0	3,916	4,712	5,547			

平成27年・令和2年は国勢調査の人口。令和3年以降は令和2年国勢調査人口をベースに、その後の自然・社会増減を反映した人口（各年10月1日現在）。

参考 国勢調査人口推移



< 人口動態の推移 >

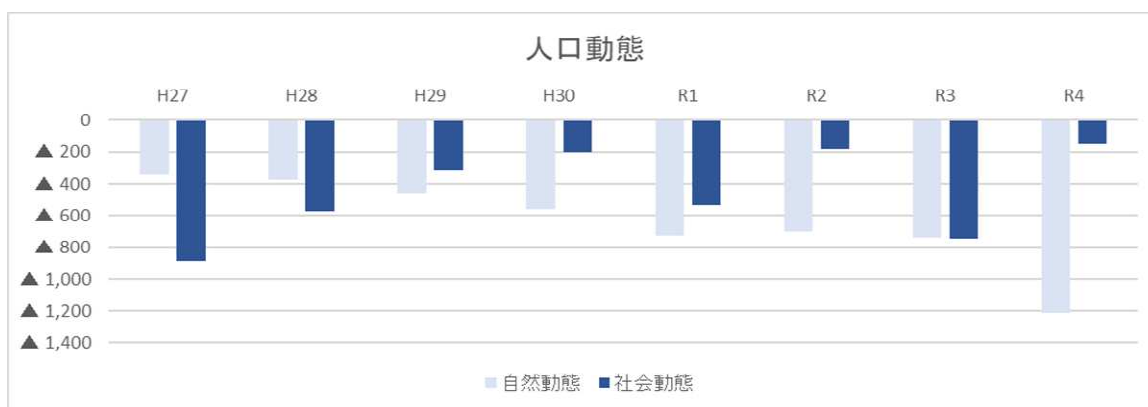
表2の人口動態推移をみると、自然動態（出生 - 死亡）は出生数の伸び悩みや死亡者数の増加により減少し続けている。社会動態でも減少はしているものの、令和4年の減少幅は創生総合戦略策定後、最も少ない下げ幅となっている。

表2 人口動態の推移

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4
自然動態	344	374	455	561	724	703	737	1,215
社会動態	889	575	318	202	536	180	748	151
合計	1,233	949	773	763	1,260	883	1,485	1,366

自然増減は、当該年中（1月～12月）の「出生 - 死亡」の人数

社会動態は、当該年中（1月～12月）の「転入 - 転出」の人数



< 創生総合戦略策定以降における世代別社会動態 >

世代別の社会動態では、子育て支援施策を重点的施策として位置付け、積極的に事業を展開する中で、表3のとおり、児童（0～17歳）は転入超過となっていることから、地方創生の取組の効果が一定表れているものと推測される。また、子育て世帯については、結婚や出産、仕事、住居の決定など、様々なタイミングでの転入のきっかけがあることから、引き続き、状況に応じた切れ目のないきめ細やかな支援を進める必要があると考える。

一方で18～29歳では大幅な転出超過となっており、要因としては、就職のタイミングでの転出がもっとも多いことから、多様な働く場の創出等の更なる対策が必要であると認識している。今後においても、人口動態を注視しながら、より効果的な施策が実施できるよう、具体的な施策に定める事業をより充実させる必要がある。

表3 創生総合戦略策定以降における社会動態

平成27年度～令和4年度の合計											
世代	0-5歳	6-11歳	12-17歳	18-23歳	24-29歳	30-34歳	35-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	計
人数	760	57	176	1,025	2,626	316	172	85	279	874	2,636

創生総合戦略策定以降の評価を行うため、年度集計（4月～3月）を記載

児童（0～17歳）の合計 993

入力日基準における集計結果

年齢は年度末年齢で集計

令和4年度事業評価 KPI達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の中間年度である令和4年度時点で、全体の約3割の指標が達成し、達成した指標も含め、達成率60%以上となる指標が6割を超えており、5つの基本目標の達成に向けて取組を進めることができた。

特に、『(4)持続的に発展する地域経済の活力づくり』では、宇治市産業戦略に沿って取組を進めることで、市内産業の発展や新たな産業創出など、13指標中12指標が、達成率60%以上の状況となっている。

また、市民活動が活発化する中で、市イベントの再開やイベント参加者数の増加により、複数のKPIの達成並びに達成率の上昇につながった。

一方で、この間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、インバウンドを中心とした観光入込客数の減少や事業の中止等、当初想定していない状況となり、達成率に影響が出ている項目もあるため、今後も引き続き、POSTコロナ時代に向けた取組を進め、5つの基本目標の達成に向けて、効果的な施策や事業が実施できるよう、検証や必要に応じた見直しなどを行う必要がある。

基本目標	数値目標 指標数	目標 達成	目標未達成		目標を達成 した指標の 割合 /	達成率が 60%以上の 指標の割合 (+)/
			達成率 60%以上	達成率 60%未満		
(1) 確固たる宇治ブランドの展開	14	4	1	9	28.6%	35.7%
(2) 市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生	19	5	9	5	26.3%	73.7%
(3) まちの魅力を高める都市基盤の整備	20	6	10	4	30.0%	80.0%
(4) 持続的に発展する地域経済の活力づくり	13	8	4	1	61.5%	92.3%
(5) 若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	23	3	7	13	13.0%	43.5%
(1)~(5) 合計	89	26	31	32	29.2%	64.0%

令和4年度事業評価（基本目標）

（1）『確固たる宇治ブランドの展開』～宇治への新しい人の流れを定着させる～

（目的）

これまでの取組により築き上げてきた本市への新しい人の流れを定着させることにより、観光客をはじめとする交流人口及び関係人口の増加を図り、本市の魅力を実感することを通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者を増やすことで人口減少に歯止めをかける。あわせて、本市への継続的に多様な関わり方の仕組みを構築し、本市と関わる関係人口を定住人口の増加につなげていく。

（数値目標）

数値目標	単位	基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
			R2	R3	R4	R5	R6	
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	%	55.0～ 93.0 (H28)	—	—	63.5～ 94.5	—	—	全て85.0 以上 (R4)
観光客のリピーター割合	%	56.3 (H28)	—	—	59.4	—	—	70.0 (R4)

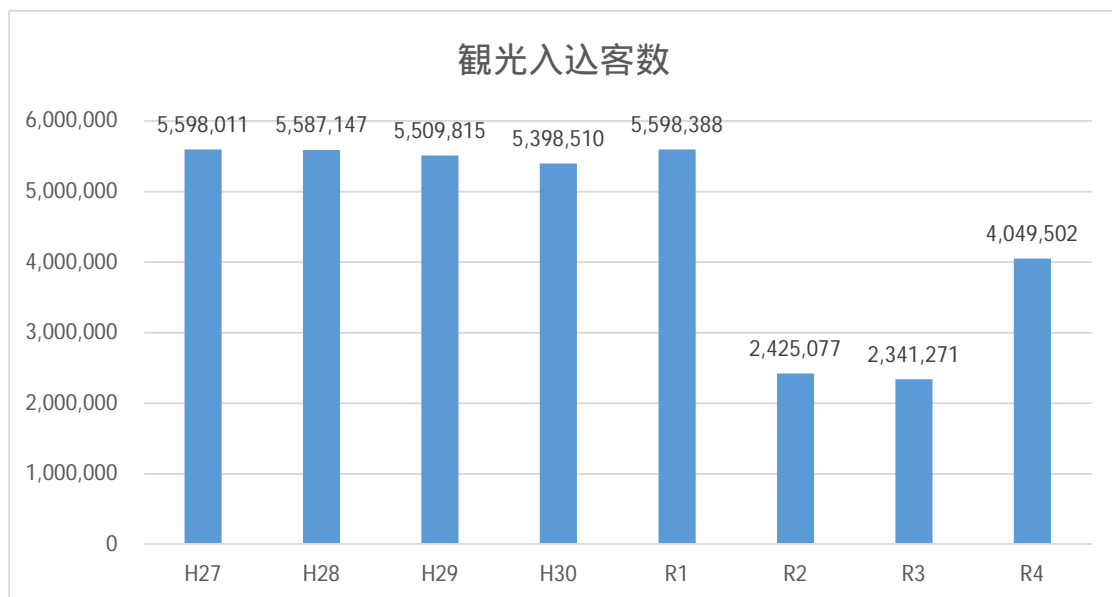
（ ）宇治市観光動向調査より

（評価・課題）

様々なメディアでの継続した魅力発信を行った結果、魅力度全国ランキングは20位台をキープし、ふるさと応援寄附金件数も増加するなど、関係人口の増加に向けて取組を進めることができた。

また、令和4年の観光入込客数についても回復してきている中、宇治市の観光振興の柱となる第2期宇治市観光振興計画を策定し、POSTコロナ時代を見据えた宇治市の観光施策の方針を示した。

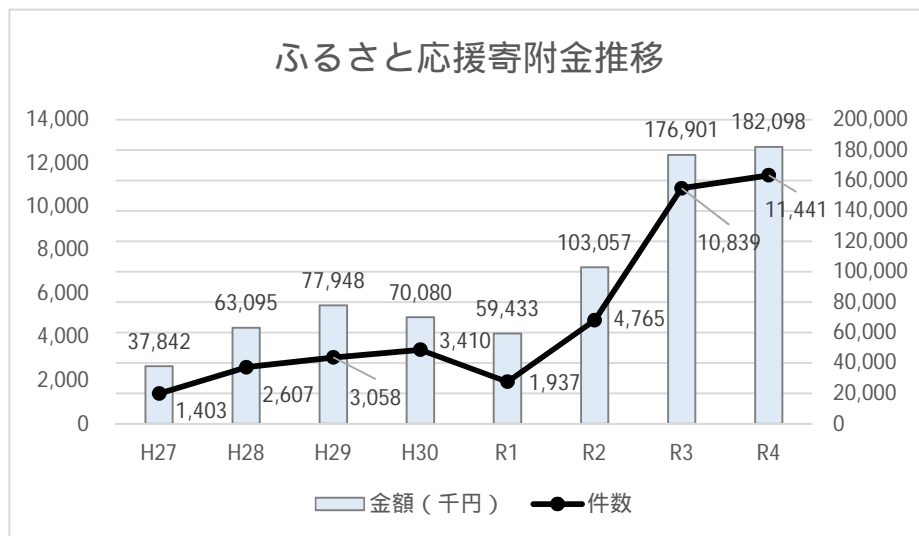
今後は、2024年大河ドラマ「光る君へ」の放映を契機とした「紫式部ゆかりのまち宇治」の魅力発信を行うとともに、従来の観光資源に加えて観光客のニーズや社会情勢の変化に合わせた新たな価値や魅力を創出し、策定した計画に基づく様々な施策を実施する中で、観光振興に向けて取組を進め、関係人口並びに定住人口の増加につなげる。



(具体的な施策)

様々な主体と一体となる魅力発信事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	位	35 (R1年)	38	27	28			当初目標 29 25 (R6)
ふるさと応援寄附件数	件	3,410 (H30)	4,765	10,839	11,441			当初目標 4,900 14,700 (R6)
魅力発信プラットフォーム延べ参加人数	人	39 (H30)	0	18	31			250 (累計) (R2~6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
戦略的広報事業	<p>市公式Instagramを開始し、宇治の風景や伝統、イベントなどの様々な魅力を発信するなど、SNS等も活用した広報に取り組む中で、地域ブランド調査による魅力度全国ランキングでは令和3年度に引き続き20位台をキープし、宇治市の魅力的な資源である宇治茶等を発信するふるさと応援寄附金は件数・金額ともに増加した。</p> <p>また、東京都渋谷区の子どもを対象とした京都山城地域の体験ツアーの実施により、関係人口の創出に向けた取組を推進することができた。</p> <p>引き続き、SNS等を活用した戦略的な広報等により、更なるブランド化を進め、関係人口の拡大に取り組む。</p>							
ふるさと応援施策推進事業								
東京しゅや連携交流事業								



観光振興事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
1人あたりの 平均観光消費額（ ）	円	4,046 (H28)	—	—	6,291	—	—	4,700 (R4)
宇治フィルムコミッション 情報発信件数	件	—	16	24	17			50 (R6)

（ ）宇治市観光動向調査より

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
第2期観光振興計画の策定	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、第2期宇治市観光振興計画の策定にあたり、観光客のニーズや社会情勢の変化を把握するため宇治市観光動向調査を実施し、宇治市に來られた観光入込客数の特性や傾向について分析・考察を行った。
放ち鵜飼プロジェクト事業	また、オンリーワンの観光資源である「放ち鵜飼」の周知・広報に向けた取組を支援し、宇治への訪問意欲の向上を図った。
観光情報発信事業	今後は、第2期宇治市観光振興計画に基づく様々な施策を実施し、従来の観光資源に加えて観光客のニーズや社会情勢の変化に合わせた新たな価値や魅力を創出し、宇治市らしさのある観光地を目指すとともに、令和5年度の全国鵜飼サミット宇治大会の開催に合わせ、宇治川の鵜飼・放ち鵜飼について広くPRを行うなど、市内外への魅力発信に努める。

観光インバウンド推進事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
外国人の1人あたり平均観光消費額 (1)	円	6,227 (H28)	—	—	—			7,300 (R4)
外国人観光客の宇治市満足度 (名所・観光案内・景観等) (1)	%	57.4 ~ 100.0 (H28)	—	—	—			全て85.0 以上 (R4)
源氏物語ミュージアムでの小型タブレット端末の貸出件数 (2)	件	8,245 (H30)	貸出 中止*	貸出 中止*	貸出 中止*			14,000 (R6)

(1) 宇治市観光動向調査より

(令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、外国人観光客が減少していたため調査未実施)

(2) 平成30年7月までは音声ガイダンス機器の貸出

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のためタブレットの貸出を中止した

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
観光インバウンド推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドは大幅に減少したものの、海外の観光に関する情報収集・分析を行い動向の変化を注視するとともに、インバウンドセミナーの実施やSNSによる情報発信、外国語表記等を追加した観光案内サインの整備などにより、POSTコロナ社会に向けて、インバウンドの観光誘客につなげる取組を行った。
観光案内サイン整備事業	また、京都府内のホテルに常設される観光情報誌に源氏物語ミュージアムの広告を掲載し、誘客に向けた広報活動を行った。
源氏物語ミュージアム広報活動事業	引き続き、海外に向けた観光情報の発信を行うとともに、宇治ならではの体験によるインバウンドの誘客や観光案内所への多言語対応タブレットの配置など、観光客の受入体制を強化することで満足度の向上を図り、リピーター獲得につなげる。

宇治茶活用事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
宇治茶や抹茶スイーツを目的に宇治へ来る割合（ ）	%	24.1 (H28)	—	—	41.1	—	—	30.0 (R4)

（ ）宇治市観光動向調査より

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
宇治茶おもてなし推進事業	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき市主催会議等での市内産玉露「かりがね」の提供や各種イベントでの玉露・抹茶の振る舞いを通じて、宇治茶の普及啓発を図った。
全国お茶まつり開催負担金	また、9年ぶりに宇治市で行われた全国お茶まつりでは、てん茶の部で産地賞を受賞し、高品質な市内産宇治茶を全国にPRすることができた。
宇治茶巡りガイドツアー事業	宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶のルーツを巡るツアーを実施し、宇治茶のブランド力の強化・発信を行った。 引き続き、伝統的な「手摘み」「覆下栽培」による高品質な市内産宇治茶の生産を支援し、ブランド力を高めるとともに、魅力の発信に取り組む。

源氏物語のまちづくり等事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
源氏物語ミュージアム来館者数	人	97,139 (H30)	46,746	40,444	63,822			160,000 (R6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
源氏物語ミュージアム企画展示事業	源氏物語ミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響や空調工事のための臨時休館等により、依然として基準値を下回っているものの、様々な視点から趣向を凝らし源氏物語及び平安時代の文化について紹介する展示を行うことで、リピーターを含む来館者の誘致に取り組んだ。							
源氏ろまん事業	また、紫式部市民文化賞では30歳未満を対象に新設した「紫式部市民文化賞ユース賞」を宇治市在住の中学生が受賞し、若年層に向けた文化芸術活動の推進を行うことができた。 2024年大河ドラマ「光る君へ」放映を契機とし、源氏物語ミュージアムでは宇治十帖の世界を紹介する特別企画展を実施するほか、時期に合わせた事業展開と情報発信を行う中で、一過性で終わらない魅力発信に取り組む必要がある。							

宇治の魅力の深化事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
重要文化的景観地区選定面積 (年度末選定面積)	ha	228.5 (H30)	228.5	228.5	228.5			520 (R4)
お茶と宇治のまち歴史公園 ミュージアムの来館者数	人	—		8,083	11,687			115,000 (R6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
お茶と宇治のまち歴史公園運営事業	<p>市内周遊観光の拠点となるお茶と宇治のまち歴史公園では、史跡太閤堤跡や宇治の歴史・文化をわかりやすく伝える施設として宇治茶の魅力や観光情報を発信するとともに、「茶づな de マルシェ」等のイベントの中で、市内飲食店などのキッチンカーの出店等を行うことにより、来園者数は約135,000人となった。</p>							
歴史文化再発見事業	<p>また、2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映に合わせて平安時代末期から鎌倉時代初期の宇治について、講座や宇治川先陣争いを再現したVRツアーを実施し、宇治市の魅力を再発見する取組を推進することができた。</p> <p>引き続き、体験型の文化講座の実施等により、市内外に向けて新しい切り口で魅力発信を行っていく必要がある。</p>							

<茶づな de マルシェ>



<お茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」での体験プログラム>

(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』

～宇治への愛着から定住促進につなげる～

(目的)

人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政のみでなく市民自らが、地域のつながりを大切に、様々な人々が共生する魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、人口流出抑制を図る。

(数値目標)

数値目標	単位	基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
			R2	R3	R4	R5	R6	
市民の宇治への愛着度 ()	%	73.2 (R1)	—	—	72.9			90.0 (R6)
市民の定住意向 ()	%	47.9 (R1)	—	—	46.3			70.0 (R6)

() 定住に関するアンケート調査より

(評価・課題)

令和4年度においては、社会動態が大きく改善した一方、自然動態が大きく減少したことにより、依然として人口は減少している中で、第6次総合計画で「土台となる取組」として位置づけた「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」のため、防災・防犯や健康づくりなど様々な分野で市民や関係団体と連携し、まちの魅力を高める取組を推進することができた。

それぞれの世代に応じた取組を進め、宇治への愛着の醸成や「住み続けたい」と思える環境の整備により転出を抑制するとともに、子育て世帯への積極的な魅力発信を行うことで転入増加につなげていく必要がある。

(具体的な施策)

市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
総合計画等の策定に係る市民懇談会等の参加団体数	団体	—	6	14	14			50 (累計) (R2~6)
生涯学習人材バンクの利用率	%	38.9 (H30)	14.1	22.5	50.0			当初目標 38.9 52.0 (R6)
健康長寿サポーター登録者数 (年度末登録者数)	人	144 (H30)	170	194	214			300 (R6)
健康づくり・食育アライアンス加入団体数 (年度末加入団体数)	団体	—	62	73	86			100 (R6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
地域安全・安心見守り事業	<p>市民や事業者との協働により、買い物や散歩中など日常生活の中で防犯活動への参加機会を増やす「ながら」防犯を推進することで、地域防犯力の向上を図った。</p> <p>引き続き、防犯活動を推進する中で、包括連携協定企業や市内事業者の参加拡大に向けて取組を実施していく。</p>							
健康長寿サポーター養成事業	<p>また、地域に出向き、支え合いやつながりの大切さについての意識醸成に取り組むとともに、担い手としての健康長寿サポーターの増加を図った。</p> <p>今後はさらに積極的に地域に出向き、地域住民や事業者との協働を進め、地域全体で支え合う支援体制を充実させる必要がある。</p>							

誰もが活躍できる共生社会づくり事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
宇治鳳凰大学受講者数	人	619 (R1)	82	469	374			当初目標 650 400 (R6)
生涯学習人材バンクの利用率	%	38.9 (H30)	14.1	22.5	50.0			当初目標 38.9 52.0 (R6)
ここからチャレンジ相談件数	件	85 (H30)	99	166	243			450 (累計) (R2~6)
福祉施設利用者の一般就労への移行者数	人	19 (H30)	19	50	79			110 (累計) (R2~6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業		評価・課題						
高齢者アカデミー実施事業	<p>京都文教大学・短期大学との連携により、65歳以上の市民を対象とした高齢者アカデミーを開講し、交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることで、令和4年度には卒業生グループが宇治市役所8階にて喫茶の運営を開始し、地域での活躍につながった。</p>							
女性の起業支援（ここからチャレンジ相談）	<p>また、様々な分野でチャレンジする女性を支持するここからチャレンジ相談では延べ109人が参加し、JR宇治駅前広場で実施した「ここからチャレンジマルシェ」では延べ108ブースの出店があった。</p> <p>今後も引き続き、多くの分野において、多様な主体が活躍できるよう事業を進めるとともに、市民の活躍の機会や交流機会を創出する必要がある。</p>							

宇治への愛着醸成事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
魅力発信プラットフォーム延べ参加人数	人	39 (H30)	0	18	31			250 (累計) (R2~6)
市立小学校への歴史資料館出前授業実施数	校	16	12	9	10			22
	回	22 (H30)	38	27	37			66 (R6)
文化芸術振興基本計画策定		—	—	策定				策定 (R3)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
宇治茶ふれあい事業	<p>宇治市に住む子どもたちに対して、宇治を学び、宇治茶をはじめとする様々な魅力を体験してもらうことで、宇治への愛着の醸成を図ることができた。</p> <p>また、発刊から4年が経過した小学校5年生と中学校3年生の「宇治学」副読本について改訂を行った。令和5年度以降も順次改定を行う予定としている。</p> <p>さらに、市内の高校生による合同の文化祭「高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES」を開催することで、学校を越えた交流の場の創出と次世代の文化芸術の担い手の育成を図った。</p> <p>引き続き、若い世代の愛着を醸成する事業に取り組むとともに、文化芸術活動の担い手の確保・育成支援のため、絵画教室や地域資源を活用したアートプロジェクトなどに対する支援事業を実施する。</p>							
「宇治学」推進事業								
高校生文化芸術祭典の開催								

誰もが健康で生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
健康長寿サポーター登録者数 (年度末登録者数)	人	144 (H30)	170	194	214			300 (R6)
健康づくり・食育アライアンス加入団体数 (年度末加入団体数)	団体	—	62	73	86			100 (R6)
認知症あんしんサポーター養成講座受講者数 (年度末受講済者数)	人	16,984 (H30)	19,043	20,069	21,206			26,000 (R6)
市民スポーツまつり参加者数 ()	人	16,000 (H30)	開催 中止	開催 中止	雨天 中止			30,000 (R6)
コミュニケーションアプリ登録者数(年度末登録者数)	人	3,500 (H30)	7,889	13,318	16,347			当初目標 9,300 30,000 (R7)

() 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
令和4年度は雨天のためスケート体験教室のみ実施

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
スポーツ次世代育成事業 (Ujiこどもスポーツフェスタ)	「2022Ujiこどもスポーツフェスタ」として、スポーツ少年団によるスポーツ体験コーナーの実施し、子どものスポーツを行うきっかけづくり・スポーツの実施率向上を目的として様々なスポーツ種目の体験の場を提供することができた。引き続き、子どもの運動機会の創出に加え、スポーツをきっかけに多世代が交流できる取組を進めていく。
健康アライアンス事業	健康アライアンス事業では、小学生の親子向けの講座「うーちゃ学校」の開催や、「うーちゃフェスタ2023」の実施により、市民の健康意識の醸成や加入団体間での交流支援を行った。今後も食育や運動を通じた市民の健康増進を進めるとともに、地域社会での健康づくり活動を活性化させるため、アライアンス加入団体の増加、交流促進を行う。

多文化共生促進事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
行政・生活情報に係る コミュニケーション支援 取組数	件	2 (H30)	4	5	8			当初目標 7 10 (R6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業		評価・課題						
情報発信力強化事業	宇治市ホームページに掲載する市政だより、防災情報、ごみの出し方などの音声化及び多言語化、避難所看板の多言語化を行い、必要な時に情報を利用できるよう取組を推進した。							
外国人への災害避難支援	今後も増加が見込まれる外国人住民が暮らしやすいまちづくりを進めるため、引き続き多文化共生に関する意識啓発・醸成に向けた取組を進めていく必要がある。							

(3) 『まちの魅力を高める都市基盤の整備』 ～人・物の交流から活力ある宇治を築く～

(目的)

今後の新名神高速道路の開通、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業などによる交通環境の大きな変化に即し、さらに社会環境や人口構成の変化にも対応した公共交通機関による市内移動の利便性・安全性の向上も含めた都市基盤の整備は、人や物の交流を活発にし、まちの魅力を高める条件となる。また、通勤・通学者による昼間人口は、長期的に緩やかに上昇し、ベッドタウンと同時に働く場としての側面も徐々に強まっている。

市外から働きに来る人、観光に訪れる人など、様々な目的で本市を訪れる人(滞在人口)を増やし、人・物の交流や地域コミュニティの基盤強化により、まちの活性化を図る。

(数値目標)

数値目標	単位	基準値 (年)	達成状況					目標値 (年)
			R2	R3	R4	R5	R6	
滞在人口率(1)	倍	0.86 (H30)	0.89	0.89	0.87			0.93 (R6)
昼夜間人口比率(2)	%	88.1 (H27)	87.8	—	—	—	—	90.0 (R2)

(1) 平日14時の滞在人口÷夜間人口(国勢調査)

(2) 昼間人口(国勢調査)÷夜間人口(国勢調査)

(評価・課題)

JR奈良線の複線化やそれに伴うJR六地藏駅のバリアフリー化などハード施策を推進するとともに、京都府や地元商店街等と連携した取組等のソフト施策を実施し、まちの活性化を図ることができた。

今後も、中宇治周辺地域において、中枢拠点にふさわしい道づくりに取り組むとともに、市民参画による地域コミュニティ活性化施策を実施するなど、引き続き、ハード・ソフト両面の取組を推進することにより、人や物の交流を活発にし、まちの魅力を高める必要がある。

(具体的な施策)

まち巡りを仕掛ける基盤づくり事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
お茶と宇治のまち歴史公園 ミュージアムの来館者数	人	—	—	8,083	11,687			115,000 (R6)
1人あたりの平均観光滞在時間 ()	—	3時間 34分 (H28)	—	—	3時間 30分	—	—	4時間 10分 (R4)
無電柱化新規整備延長	m	—	0	190	/	/	/	190 (R6)

() 宇治市観光動向調査より

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
「京の七夕 in Uji」事業	<p>京都府各地で開催されている「京の七夕」と連携し、宇治の新たな魅力を創出するため、京都府立宇治公園周辺で源氏物語宇治十帖をテーマにしたライトアップを実施したほか、お茶と宇治のまち歴史公園での七夕飾りの設置やライトアップ、地元商店街等と連携したイベントの開催、宇治発電所の特別公開、七夕の文化を伝えるシンポジウムなど、関係機関と連携し取組を行うとともに、イベント開催期間中にInstagramを利用した広報を行い、観光の振興と活性化を図ることができた。</p> <p>令和5年度はプレミアムツアーの実施、天ヶ瀬ダムライトアップ、「茶づなde夏祭り&ナイトマルシェ」の開催など、より多くの人に参加していただけるよう取組を実施する。</p>
お茶と宇治のまち歴史公園運営事業	



<「京の七夕 in Uji」事業>

人・物の交流の活性化事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
市内鉄道駅乗客数	万人	2,791 (H29)	2,174	集計中*	集計中*			2,940 (R6)
主要バス停乗降客数	万人	404 (H29)	323	集計中*	集計中*			404 (R6)
バリアフリー新法に基づく バリアフリー化済鉄道駅数	駅	11 (H30)	12	12	13			14 (R6)

*各公共交通機関へ照会中であり公表は令和5年夏を予定

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
JR奈良線複線化補助金	JR奈良線高速化・複線化第二期事業が完了し、令和5年3月18日に第二期複線化を開業したことにより、列車の行き違い待ちの解消による所要時間の短縮やダイヤの安定性向上、JR六地蔵駅のバリアフリー化による公共交通機関を利用した移動の利便性・安全性の向上が図られた。引き続き、JR六地蔵駅前広場の再整備事業、JR黄檗駅、駅前広場のバリアフリー化に取り組み、人や物の交流の活性化を図る。
交通バリアフリー推進事業	また、小倉地域のまちづくりについても、(仮)西小倉地域小中一貫校の整備や(仮称)任天堂資料館のオープン等を見据えながら地域の活性化に向けて取組を進めていく。

豊かな市民生活を実現する社会基盤の整備事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
公共施設将来像の基本構想策定	-	-	-	策定	/	/	/	策定 (R3)
次期都市計画マスタープランの策定	-	-	-	-	策定	/	/	策定 (R3)
長寿命化対策橋梁数 (年度末長寿命化完了数)	橋	6 (H30)	13	15	16			当初目標 15 17 (R5)
汚水処理人口普及率	%	96.3 (H30)	97.0	97.2	98.1			99.1 (R5)
中小河川等のBOD負荷量	kg/ 日	33.6 (H30)	測定 不可*	14.9	16.0			25.1 (R5)

*河川の流水量が少なく測定不可であった

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
宇治市都市計画マスタープランの策定	市民との対話による「まちづくりオープンハウス・意見交換会」を開催し、「ともに築く魅力ある未来への都市」を基本理念とする宇治市都市計画マスタープランを策定した。 今後は宇治市都市計画マスタープランのアクションプランとして「(仮)未来につなぐ都市づくりプラン」を策定することで豊かな市民生活を実現するまちづくりを推進する。

地域コミュニティの活性化事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
地域コミュニティ推進シンポジウム及び地域懇談会の参加人数	人	120 (H30)	140	200	340			400 (累計) (R2~6)
市民参画・協働（ワークショップ手法等）職員研修の参加人数	人	—	30	130	200			当初目標 150 350 (累計) (R2~6)
健康長寿サポーター登録者数 (年度末登録者数)	人	144 (H30)	170	194	214			300 (R6)
れもねいだー登録者数 (年度末登録者数)	人	107 (H30)	128	139	147			150 (R6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
地域コミュニティ活性化事業補助金	町内会・市民活動団体・事業者・大学との連携による地域課題の解決に向けた取組や、集会所や店舗等の交流空間を活用した地域のつながりを促進する取組に対して支援を行った。 引き続き、地域コミュニティ活性化のため、「人」と「空間」に着目した取組により、地域のつながりの促進を行う。							
地域まちづくり交流空間促進事業補助金								

地域の豊かさを維持・向上させる国土強靱化の推進事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
自主防災組織率	%	73.1 (H30)	74.7	75.2	75.4			79.0 (R6)
市有建築物の耐震化率	%	93.0 (H27)	98.6	—	—	調査予定		100.0 (R7)
雨水地下貯留施設数 (年度末貯留施設数)	箇所	6 (H30)	7	7	8			当初目標 9 12 (R6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業		評価・課題						
防災対策推進事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった防災訓練を2年ぶりに実施し、自主防災リーダーや関係機関との連携について確認することができた。</p> <p>また、京都府南部地域豪雨災害から10年を迎えたことを受け、防災シンポジウムを開催するとともに、令和4年度からは、水害時において地域の自主的な避難行動につながる「災害時避難行動タイムライン」の作成支援を開始し、自主防災リーダーが作成支援のリーダーとして活動できるようになるための養成講座を3回実施した。</p> <p>引き続き、自主防災組織等のタイムライン作成支援のため、京都大学防災研究所や京都府とも連携し、取組を進める。</p>							
災害時地域タイムライン作成支援事業								

(4) 『持続的に発展する地域経済の活力づくり』

～宇治に「しごと」と「ひと」の好循環をつくる～

(目的)

若年層の本市への移住・定住につなげていくためには、近隣での働く場の創出が重要であり、持続的に発展する地域経済を実現し、「しごと」と「ひと」の好循環をつくることにより、将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、多様な働く場を創出することにより、定住人口を確保し、市民の豊かな暮らしを実現する。

さらに、地域経済の活用づくりや多様な働く場を創出する側面においては、市内企業の発展や市外からの企業の受入・誘致は重要な課題であるため、産業戦略に基づいた取組を推進する。

(数値目標)

数値目標	単位	基準値 (年)	達成状況					目標値 (年)
			R2	R3	R4	R5	R6	
市内事業所数()	事業所	5,413 (H28)	—	5,126	—	—	—	5,413 (R3)
市内従業者数()	人	54,794 (H28)	—	54,266	—	—	—	56,500 (R3)

() 経済センサスより

(評価・課題)

第6次総合計画第1期中期計画の中で重点施策として位置づけた「活力あふれる産業振興と未来への投資」の実現に向け「宇治市産業戦略改訂版」に基づく取組を実施した。

市内企業の事業継続支援を目的に、BCP(災害等の不測の事態に備えるための事業継続計画)策定支援や円滑な事業継承に向けた取組を行うとともに、市内に新たに事業所等を設置・増設する企業を助成し、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図ることができた。また、工場見学ツアーの実施や情報誌の作成による効果的な情報発信を行い、市内製造業をPRすることができた。

引き続き、地域経済の活力づくりの推進、宇治市内での多様な働く場の創出による定住人口増加に向け、取組を進める必要がある。

(具体的な施策)

市内産業の進化・発展事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
海外販路における取引数 ()	社	16	27	36	36			25
	品目	220 (H30)	130	130	134			300 (R6)
企業支援数 (訪問等による支援数)	社	100 (H30)	88	186	210			150 (R6)
W E B を活用した雇用・就労 支援 (アクセス数)	件	—	41,984					3,000 (R3)
農業に係る担い手の法人化経 営体数 (年度末経営体数)	件	6 (H30)	8	7	8			10 (R5)
担い手への農地利用集積率	%	29.3 (H30)	27.2	26.2	25.8			35.0 (R5)

() 宇治商工会議所が実施する販売開拓数

*新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航中止し、品物を送付しての商談のみ実施

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
宇治のうまいもん発信事業	地元「宇治」にしかない魅力をYouTubeチャンネルで動画配信するとともに、参加店舗の集客促進のためInstagramで宇治飯公式アンバサダー募集キャンペーンを実施し、地域経済の活性化に努めた。
中小企業人材確保支援事業	また、市内企業の人材確保支援のため、宇治市主催の合同企業説明会を実施し、4名の採用につながった。 今後も、市内企業のPR動画を作成するなど市内企業の雇用支援に取り組む。

交流連携の強化事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
農商工が連携した新商品 開発等への支援件数	件	—	0	1	1			当初目標 4 6 (累計) (R2~6)
異業種交流会の開催	回	—	2	7	10			当初目標 4 14 (累計) (R2~6)
製造業の情報発信数	社	—	28	83	137			当初目標 60 230 (累計) (R2~6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
中小企業交流促進事業	<p>事業者間の交流の場として、各種セミナーや同業種・異業種・起業を目指す方の交流会を実施し、事業のマッチングや取引の成立など事業連携を強化することができた。</p> <p>また、京都先端科学大学や京都工芸繊維大学などの理系大学研究室と市内製造業事業者に向けたセミナーを実施し、産学交流に向けたきっかけづくりに取り組んだ。</p> <p>顧客創出・雇用確保・魅力発信を目的とした工場ツアーの実施や企業情報誌を作成し、宇治市内の製造業のPRを行った。</p> <p>今後も継続して交流促進事業を実施するとともに、効果的な情報発信に取り組む必要がある。</p>							
産学連携交流促進事業								
中小企業情報発信事業								

新たな産業創出事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
新たな起業拠点の整備	箇所	—	1	—	/	/	/	1以上 (累計) (R2~3)
創業支援補助件数	件	7 (H30)	6	19	31			当初目標 10 43 (累計) (R2~6)
起業ニーズ掘り起しのための創業塾等の開催数	回	—	3	19	32			当初目標 8 40 (累計) (R2~6)
基本目標達成に向けた主な事業と評価								
主な事業	評価・課題							
中小企業創業支援事業	<p>新たに創業する者へ創業経費の一部を補助するとともに、宇治NEXTに常駐するコーディネーターにより、市内企業の支援に重点的に取り組んだ。</p> <p>また、市内に工場等を新設または増設した企業に対して支援を行うことにより、市内企業の立地を促進し、地域経済の活性化を図った。</p> <p>引き続き、市内立地の動機づけを行うとともに、新たな事業用地の確保に向け、取組を進めていく必要がある。</p>							
ベンチャー企業育成支援事業								
企業立地促進助成事業								

(5) 『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』

～子どもが輝く未来の宇治を築く～

(目的)

子育て世代の本市への移住・定住につなげていくためには、宇治で結婚・出産・子育てをしたいと思えるイメージの形成とそれらの実現に向けた支援及び環境づくりにより、住みたい、住み続けたいまちになることが必要である。結婚から安心して子どもを産み育てられる切れ目のない支援と地域で子どもを見守り交流できる環境づくりなど、子育て世代のニーズを把握する中で、その希望をかなえるまちを実現するとともに、次代のまちづくりを担う子どもたちが、宇治で子育てに夢を持ち、家庭を築き、子どもを産み育てたいと思えるまちを実現する。

また、宇治の未来を担う子どもを育むため、学力向上に向けた取組など、教育・家庭環境のより一層の充実を図る。

(数値目標)

数値目標	単位	基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
			R2	R3	R4	R5	R6	
出生数	人	6,514 (H26~30年)	1,118	2,216	3,223			7,500 (累計) (R2~6年)
子育てしやすい環境や支援への満足度()	%	22.9 (H30)	—	—	—	調査予定		30.0 (R5)

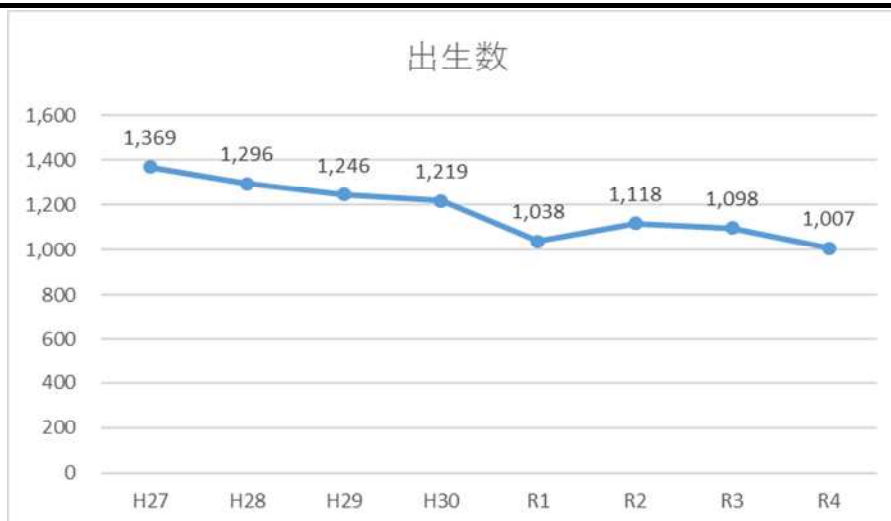
() 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

(評価・課題)

子育て支援施策の充実について、第6次総合計画第1期中期計画の中でも重点施策と位置づけて取組を進めているが、令和4年の出生数は創生総合戦略策定以降、最も少ない数値となった。

一方で、子育て・子育て環境の充実に向け、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援の実施や子育て世帯が安心して出かけられる環境の充実など、子育て世帯の満足度向上に向けた取組を推進することができた。

引き続き、子育てを担う若い世代の就労から結婚・出産・子育て支援など国・京都府と連携した出生数の増加につながる事業を実施するとともに、「子育てにやさしいまち」の実現に向け、プロジェクトによる分野横断的な施策を中心とした取組の実施により、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成に取り組んでいく必要がある。



(具体的な施策)

若い世代の就労支援事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
20歳代後半から30歳代前半の就業率 ()	%	74.6 (H27年)	69.1	—	—	—	—	80.0 (R2年)
大学・大学院・短大卒業予定者及び既卒者対象の製造業合同企業説明会の来場者数	人	37 (H30)	48	23	26			50 (R6)
奨学資金返還支援者数	人	—	50	92	130			250 (累計) (R2~6)

() 25歳から34歳の就業者 (国勢調査) ÷ 25歳から34歳の人数 (国勢調査)

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
奨学資金返還支援事業	<p>若年層の定住促進と子育て世帯への支援を目的に行った奨学金の返還支援について、子育て世帯を優先し、対象年度に結婚や出産などのライフイベントがあった場合には増額することにより、「子育てしやすいまちづくり」の実現に向けて取り組んだ。</p> <p>また、ひとり親家庭の親の資格取得を支援し、就業促進と自立支援を図った。引き続き、若い世代の就業率の向上に向けた事業を検討する必要がある。</p>
ひとり親家庭自立支援事業	

結婚・出産支援事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
出産しやすい環境や支援への満足度 (1)	%	21.5 (H30)	—	—	—	調査予定		30.0 (R5)
産後ケア事業の利用者数	人	宿泊型 —	8	20	13			宿泊型 20
		訪問型 —	39	64	53			訪問型 65
		日帰り型 —	20	37	43			日帰り型 15 (R6)
妊婦面談率 (2)	%	100.0 (H30)	99.9	99.6	99.9			100.0 (R6)
妊婦歯科健診受診率	%	32.9 (H30)	31.0	34.5	37.4			65.0 (R5)

(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

(2) 妊婦面談数 ÷ 妊娠届出数

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
不妊治療助成事業	<p>不妊治療を受けている夫婦に対し、治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と少子化対策の推進に取り組んだ。</p> <p>また、妊娠・産後支援事業において、これまでの講座・指導形式だけではなく交流形式を取り入れることで、育児不安等の解消に向けた、より効果的な取組の実施に努めた。</p> <p>さらに、妊婦面談などを通じて産後の支援体制が必要な方を把握し、適切な支援の案内ができた。</p> <p>引き続き、妊娠・出産・子育てに関する切れ目のないサポートを行う。</p>
妊娠・産後支援事業	
産後ケア事業	

子育て支援環境充実事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
子育てをする上で気軽に相談できる人や場所がある（ある）割合（ ） （保護者の割合）	%	就学前児童				調査 予定		95.0
		92.4						
		小学生	-	-	-			90.0
		87.9						
		中高生等						85.0
		84.3 (H30)						(R5)
待機児童数（国定義後）	人	0 (H30)	0	0	0			0 (R6)

（ ） 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業	植物公園、黄檗公園及び西宇治公園において、遊具や芝生広場の整備により、乳幼児を含む子どもたちが安心して外遊びができる環境づくりを行うとともに、子育て応援イベントとしてヨガや体操イベントを行い、親子の交流の場を創出することにより「子育てにやさしいまち」の実現に向けて取組を推進した。
地域子育て支援拠点事業	また、親子が気軽に集い、相互の交流や子育て相談ができる場の提供や、子育ての相互援助活動の支援を行い、地域での子育て支援を推進した。 引き続き、子育て相談の場の周知に努め、子育て世帯が気軽に相談・交流できる環境を提供していく必要がある。

学習環境等充実事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
家庭学習の定着度 (授業以外の勉強が平日1日 当たり30分に満たない子ども の割合)(1)	%	小学6年生 19.9 (全国平均)	-	小学6年生 19.9 (全国平均)	小学6年生 25.0 (全国平均)			小学6年生 13.0以下
		13.0		13.0	14.7			
		中学3年生 15.9 (全国平均)		中学3年生 15.9 (全国平均)	中学3年生 20.1 (全国平均)			中学1年生 9.9以下
		9.9 (R3)		9.9	13.4			(R6)
将来の夢がある子どもの割合 (2)	%	小学生 71.5	-	-	-	調査 予定		小学生 75.0
		中高生 49.7 (H30)						中高生 50.0 (R5)
学習者用P C・タブレット端 末の整備率	人/台	12.1 (H30)	1	1	1			1 (R5)
学校図書館図書標準に対する 図書整備率が達成している小 学校・中学校数	校	小学校 20/22	22/22	22/22	22/22			全校達成 (R6)
		中学校 3/10 (H30)	6/10	6/10	8/10			
学校施設長寿命化計画の策定		-	策定					策定 (R2)

(1) 全国学力・学習状況調査の項目変更により評価指標変更

(2) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
スクール・サイエンス・サ ポート事業	京都大学宇治キャンパスとの連携により、児童・生徒の興味、関心を高め、 学びへの意欲の向上を図った。 また、タブレット端末を活用した学習の充実や、プログラミングロボットの 整備を行うとともに、ICT支援員を配置し教員に向けた授業支援や活用事例の 紹介を行った。
小中学校ICT教育充実事業	今後は宇治市における学力の課題解決に向け、小学校低学年から学力調査 による多角的な分析を行い、データを活かした指導に取り組むことにより、基 礎学力の定着と家庭での学習習慣の確立を図る。

切れ目のない連携教育推進事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
中学校入学に対する不安割合 (中学1年生は「今、学習や生活について不安や悩みがある」割合)()	%	小学6年生 50.4	-		小学6年生 45.2			小学6年生 40.7以下
		中学1年生 28.0 (H30)			中学1年生 25.2以下 (R6)			
通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対する個別の教育指導計画書作成率	%	75.8 (H30)	72.5	76.5	77.7			100.0 (R6)

() 小中一貫教育に係る意識等調査より

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
(仮)西小倉地域小中一貫校整備事業	宇治市で2校目となる施設一体型小中一貫校の設計業務を開始した。引き続き、令和8年度の開校に向け、設計業務等、整備を進めていく。
いきいき学級支援員設置事業	また、通常の学級での障害のある児童・生徒に対し、支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の解決を図った。 引き続き、障害のある児童・生徒へ向けた効果的な支援体制について検討していく。

地域等協働子育て環境充実事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
子どもが自分から近所の人にあいさつする割合 (1)	%	小学生 76.5	-	-	-	調査 予定	小学生 80.0	
		中学生等 76.6 (H30)					中学生等 80.0 (R5)	
青少年育成協議会のジュニアリーダーとして活動した人数	人	12 (H30)	活動 中止*	活動 中止*	11		20以上 (R6)	
放課後子ども教室延べ参加人数	人	4,157 (H30)	3,746	2,601	4,110		6,000以上 (R6)	
各中学校ブロックで開催する地域懇談会の平均参加人数	人	90 (H30)	開催 中止*	開催 中止*	開催 中止*		100以上 (R6)	
児童生徒が地域活動に参加した割合 (2)	%	小学校 60.0	-		小学6年生 50.4		小学6年生 65.0以上	
		中学校 30.9 (H30)			中学3年生 31.8		中学3年生 39.7以上	
							43.7以上 (R6)	

(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

(2) 全国学力・学習状況調査より

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動等を中止した

基本目標達成に向けた主な事業と評価	
主な事業	評価・課題
コミュニティ・スクールの推進	「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を目指し、全宇治市立小中学校において学校運営協議会の設置を行い、登下校の見守りや学習支援等の地域学校協働活動をスタートした。
放課後子ども教室支援事業	引き続き、地域住民や保護者だけでなく、地域の企業や大学生、諸団体などに対して、コミュニティ・スクールの周知を広く図るなど、地域とともに子育て・子育て環境の充実を進める必要がある。

国の地方創生関係交付金を活用した事業

地方創生推進交付金（令和4年度） 補助率1/2

あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ~みんなが主役の地域振興事業~（令和3年度～令和7年度）

（事業概要）

京都府全域において取り組んできた観光地域づくりのこれまでの成果を、産業振興・雇用創出なども含めた地域振興につなげるため、観光を入口とした圏域内の関係人口の創出拡大や地域の活力づくりに取り組む。

（数値目標）

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況				目標値 （年度）
指標	単位		R3	R4	R5	R6	
観光客の宇治市満足度（1） （飲食・お土産・景観等）	%	55.0～ 93.0 （H28）	—	63.5～ 94.5	—	—	全て85.0 以上 （R4）
観光客のリピーター割合 （1）	%	56.3 （H28）	—	59.4	—	—	70.0 （R4）
市民の宇治への愛着度 （2）	%	73.2 （R1）	—	72.9			90.0 （R6）
市民の定住意向 （2）	%	47.9 （R1）	—	46.3			70.0 （R6）

（1）宇治市観光動向調査より

（2）定住に関するアンケート調査より

（主な事業）

事業名	事業費（実績） （千円）	財源内訳	
		交付金	その他
高校生文化芸術祭典事業費	1,195	597	598
「京の七夕 in UJI」事業費	8,000	4,000	4,000
宇治茶巡りガイドツアー事業費	70	35	35
観光活性化事業補助金	1,000	500	500
放ち鶴飼事業補助金	3,300	1,650	1,650
茶・茶園品評会出品奨励費	6,788	3,394	3,394
高品質茶ブランド力強化事業費	6,301	3,151	3,150
空き家等対策事業費	57	28	29
空き家等利活用推進事業費	2,144	1,072	1,072
天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進費	2,272	1,136	1,136
自主防災組織育成事業補助金	547	274	273
地域のつながり促進事業費	2,570	1,285	1,285
地域安全・安心見守り事業費	5,478	2,739	2,739
山間地域移動支援事業費	300	150	150
高齢者免許返納支援事業費	1,000	500	500
お茶の京都DMO協議会負担金	14,862	7,431	7,431
合計	55,884	27,942	27,942

(評価・課題)

宇治茶や放ち鶏飼など、宇治市の歴史や文化を守り、発展させるための支援を行うとともに、各種イベントの開催やツアーの実施などによる魅力の発信を行い、関係人口の拡大に取り組んだ。併せて、地域住民のつながりを促進する取組を行うことにより、地域コミュニティの活性化を図った。引き続き、地域の観光・産業の発展に努めるとともに、市民や活動団体との協働により、地域振興を推進する。

「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業（令和4～7年度）

（事業概要）

子育て世代の外出支援とタイアップした商店街の活性化支援や、課題である子どもの外遊び環境へアプローチする体験・交流の場の創出、子育て世代の仕事づくり等の拠点群を集中的に形成するとともに、地域の住民・企業と協働し、地域全体で子どもを見守り、子育てを支援する体制整備により、子育てにやさしいまちづくりを進める。

（数値目標）

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況			目標値 （年度）
指標	単位		R4	R5	R6	
出生数	人	6,514 (H26～30年)	3,223 (R2～4年)			7,500 (累計) (R2～6年)
子育てしやすい環境や支援への満足度（ ）	%	22.9 (H30)	—	調査予定		30.0 (R5)

（ ）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

（主な事業）

事業名	事業費（実績） （千円）	財源内訳	
		交付金	その他
「まちにわ」ネットワーク形成事業費	3,476	1,738	1,738
地域まちづくり交流空間創出事業費	2,281	1,140	1,141
こども未来キャンパス事業費	12,708	6,354	6,354
産業会館改修事業費	17,841	8,921	8,920
ワーケーション受入体制支援事業費	1,627	813	814
子育ておうえん環境整備事業費	3,114	1,557	1,557
宇治茶ふれあい事業費	700	350	350
空き家活用促進まちづくり支援事業費	1,000	500	500
合計	42,747	21,373	21,374

（評価・課題）

子育て世代が外出しやすい環境を整備するため、地域の店舗や団体が実施する授乳室等の施設整備や、子育て世代を対象としたイベントの実施などに対して補助を行った。また、地域の交流空間の創出を促進するとともに、子どもを対象とした起業・体験スクールの実施や宇治茶に触れる機会の創出により、子どもたちの体験の場の創出に取り組んだ。

引き続き、地域全体で子育てを支援する環境づくりに向け、取組を推進していく必要がある。

京都やましる地域×東京しづや連携 ～和文化×多文化 関係人口創出プロジェクト～（令和2～4年度）

（事業概要）

京都府山城地域のお茶に代表される伝統的な和文化と東京都渋谷区の先端的なファッション、デザイン等の多文化との融合を進め、新たな商品や生活文化を創出することにより、京都府山城地域の再生と東京都渋谷区の魅力の維持・拡大を図ることで、「地方住民が都市で活躍する」、「都市住民が地方で活躍する」といった、地方と都市ともに発展・成長するような共存共栄する新しい関係づくりをめざす。

（数値目標）

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況			目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	
観光消費額（山城地域の額、渋谷区の額を設定）	億円	2,459 (R1)	1,022	789	2,218	2,915 (R4)
両地域において企業が連携して開発したプログラム、商品の件数	件	— (R1)	0	0	2	3 (R4)
両地域の連携事業へ参画した個人のうち継続して参画意欲がある人数	人	— (R1)	131	279	335	150 (R4)
イベント参加者へのアンケートによりやましる地域と渋谷区の連携が大切とする住民の割合	%	23.0 (R1)	76.8	70.8	97.7	38.0 (R4)

（KPIは東京都渋谷区と山城地域12市町村の合計の値）

（主な事業）

事業名	事業費（実績） （千円）	財源内訳	
		交付金	その他
東京しづや連携交流事業費	3,368	1,684	1,684

（評価・課題）

京都山城地域の特産品を活かしたお茶セットの開発や、東京都渋谷区の子どもを対象とした京都山城地域の体験ツアーの実施、東京都渋谷区におけるお茶の京都大茶会の開催など、お互いの地域の文化や特産品を活かし、それぞれの地域で「交流」を図ることができた。令和4年度で本事業は終了するが、今後も「関係人口」の創出・拡大を目指し、地域資源を活かした取組を進める必要がある。

令和4年度重要業績評価指標（KPI）目標値修正一覧

指標変更

指標としていた文部科学省「全国学力・学習状況調査」の項目変更により、指標・基準値・目標値の変更を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況	当初目標値 （年度）	目標値 （年度）	掲載 ページ
指標	単位		R3			
（旧）家庭学習の定着度 （授業以外に1時間以上勉強している割合）	%	小学6年生 56.0 （全国平均）	小学6年生 55.8 （全国平均）	全国平均以上 (R3)	/	33
		66.2 中学3年生 66.1 （全国平均） 70.6 (H30)	62.5 中学3年生 69.6 （全国平均） 75.9 (R3)			



（新）家庭学習の定着度 （授業以外の勉強が平日1日 当たり30分に満たない子どもの割合）	%	小学6年生 19.9 （全国平均）	—	—	小学6年生 13.0以下	33
		13.0 中学3年生 15.9 （全国平均） 9.9 (R3)	—	—	中学1年生 9.9以下 (R6)	

当初目標値達成

令和4年度時点で当初目標値を達成したため、目標値の修正を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況	当初目標値 （年度）	目標値 （年度）	掲載 ページ
指標	単位		R4			
行政・生活情報に係る コミュニケーション支援 取組数	件	2 (H30)	8	7 (累計) (R6)	10 (累計) (R6)	18
市民参画・協働（ワーク ショップ手法等）職員研修の 参加人数	人	—	200	150 (累計) (R2~6)	350 (累計) (R2~6)	23

当初目標年度到達

各種計画等の改訂に合わせ、目標値及び目標年度の修正を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	達成状況	当初目標値	目標値	掲載
指標	単位	（年度）	R3	（年度）	（年度）	ページ
生涯学習人材バンクの利用率	%	38.9 (H30)	22.5	38.9 (R3)	52.0 (R6)	14、15
宇治鳳凰大学受講者数	人	619 (R1)	469	650 (R3)	400 (R6)	15
雨水地下貯留施設数 （年度末貯留施設数）	箇所	6 (H30)	7	9 (R3)	12 (R6)	24
企業支援数 （訪問等による支援数）	社	100 (H30)	186	150 (R3)	150 (R6)	26
農商工が連携した新商品 開発等への支援件数	件	—	1	4 (累計) (R2～3)	6 (累計) (R2～6)	27
異業種交流会の開催	回	—	7	4 (累計) (R2～3)	14 (累計) (R2～6)	27
製造業の情報発信数	社	—	83	60 (累計) (R2～3)	230 (累計) (R2～6)	27
創業支援補助件数	件	7 (H30)	19	10 (累計) (R2～3)	43 (累計) (R2～6)	28
起業ニーズ掘り起しのための 創業塾等の開催数	回	—	19	8 (累計) (R2～3)	40 (累計) (R2～6)	28
中学校入学に対する不安割合 （中学1年生は「今、学習や 生活について不安や悩みがあ る」割合）	%	小学6年生 50.4 中学1年生 28.0 (H30)	—	小学6年生 40.7以下 中学1年生 25.2以下 (R3)	小学6年生 40.7以下 中学1年生 25.2以下 (R6)	34
青少年育成協議会のジュニア リーダーとして活動した人数	人	12 (H30)	—	20以上 (R3)	20以上 (R6)	35
各中学校ブロックで開催する 地域懇談会の平均参加人数	人	90 (H30)	—	100以上 (R3)	100以上 (R6)	35
児童生徒が地域活動に参加し た割合	%	小学校 60.0 中学校 30.9 (H30)	小学6年生 50.4 中学3年生 31.8	小学6年生 65.0以下 中学1年生 39.7以下 (R3)	小学6年生 58.1 中学3年生 43.7 (R6)	35